

令和6年度 市民生活部長「政策宣言」中間報告

市民生活部長 長谷川 寛和

○ 令和6年度重要事業

事業名	多様な人材が活躍できる環境づくりの推進
目標	<p>協働と共創のまちづくりを進めるため、まちづくりに関する情報提供や情報交換、まちづくりに関する課題などを共有できる「まちづくりラボ」を実施し、地域活動の活性化と多様な主体との連携推進を図るほか、互いの文化や価値観の相互理解を深め、多文化共生の地域づくりに取り組みます。</p> <p>また、台北市士林区との友好提携5周年記念式典の開催等、友好・姉妹都市と幅広い分野での交流促進を図ります。</p>
進捗状況	<p>まちづくり活動をしている団体、企業、個人がつながる場として「まちづくり談話室」を毎月1回開催し、地域活動の活性化と多様な主体の連携を進めるとともに、9月には、公募提案型市民協働事業である多文化交流イベント「LINK PARK」に併せ、互いの文化や価値観の相互理解を深めるためのダイバーシティ講演会を開催しました。</p> <p>また、友好・姉妹都市との交流では、7月に台北市士林区から訪問団を迎え、友好提携5周年記念式典を開催し、更なる友好の強化と幅広い交流の推進について互いに確認しました。</p>
今後の対応	<p>引き続き、多様な主体が連携した協働と共創のまちづくりを推進するとともに、性別や国籍に関わりなく、市民の誰もがいきいきと活躍できる環境づくりに努めます。</p>

事業名	持続可能で利用しやすい公共交通の推進
目標	<p>持続可能で利用しやすい公共交通の実現を目指し、A I オンデマンドバス「のるーと射水」の運行エリア拡大に取り組むほか、引き続き、高齢者等の近距離移動手段の確保の取組に対する支援や、越中大門駅のバリアフリー化に取り組めます。</p>
進捗状況	<p>南東エリアでの「のるーと射水」の本格運行に加え、9月からは北東エリアで実証運行を開始しました。</p> <p>また、高齢者等の近距離移動に対する地域の主体的な取組に対して費用の一部を補助しているほか、あいの風とやま鉄道株式会社と連携して、越中大門駅のバリアフリー化に係る詳細設計に取り組んでいます。</p>
今後の対応	<p>北東エリアでの「のるーと射水」の本格運行に向けた取組を進めるほか、高齢者等の近距離移動に対する地域の主体的な取組に対する補助を継続するなど、引き続き、持続可能で利用しやすい公共交通の推進に取り組めます。</p>

事業名	被災家屋等の適切な処理
目標	令和6年能登半島地震により被害を受けた被災家屋等について、市が所有者に代わって公費で解体・撤去を行い、被災家屋等の倒壊による二次被害の防止並びに生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。
進捗状況	公費解体については、申請に基づき順次解体工事に着手し、一部において完了しています。 また、対応を検討している方や申請手続が完了していない方に配慮し、申請期限を令和6年12月27日まで延長しました。
今後の対応	引き続き、被災者の実情に寄り添いながら、復旧に向けた支援を進めます。